



2003年5月6日[火]→5月30日[金]

11:00a.m.-7:00p.m. (水曜日は8:30p.m.まで)

土・日・祝祭日休館 入場無料

主催=ガーディアン・ガーデン /

クリエイションギャラリー-G8

協力=ダンス・エレマン

EPSON PiezoGraph Laboratory

寺山修司没後20年

第1会場=ガーディアン・ガーデン

〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5

リクルートGINZA7ビルB1F

TEL:03-5568-8818

第2会場=クリエイションギャラリー-G8

〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17

リクルートGINZA8ビル1F

TEL:03-3575-6918

われに五月を

タイムトンネルシリーズ展

宇野亜喜良展



デザイン隆盛期の60年代、70年代に独特のメタモルフォシスのイラストレーションとともにグラフィックデザイナーとしてデビューし、今もなお、第一線のイラストレーターとして走り続ける宇野亜喜良。近年の宇野氏の描く女性や天使、それをとりまく花や樹や動物は、緻密な描写力に裏付けられた繊細で柔らかな線で描かれながらも、妖艶で不思議な雰囲気を感じ、見る側に強く迫ってきます。

タイムトンネルシリーズ17回目は、仕事としてのイラストレーションはもちろん、オリジナル作品でも積極的な自己表現を行い、絵本、立体、舞台美術と様々な表現方法に挑戦し続ける宇野氏を、デビュー当時から現在にいたるまで、二会場でご紹介します。

ガーディアン・ガーデンでは、少年時代のスケッチに始まり、日宣美会員賞受賞作品などの繊細で幻想的な線画のイラストレーション、そして日本デザインセンター、スタジオ・オイルフィルを経てフリーランスになる頃までのグラフィックデザイナーとしての仕事、60年代後半以降の演劇ポスター、また80年代後半以降の個展出品作品などを展示いたします。

クリエイションギャラリーG8では、新たな舞台を創作するという設定で、戯曲・舞台美術・衣装・ポスター・チケットなどを制作します。これらの要素は、氏が芸術監督を手掛ける「ダンス・エレマン」の公演で10月に実現される予定になっています。その他に、過去に手掛けてきた舞台美術や衣装、公演写真等も展示し、多くの作品分野の中から演劇を中心に紹介しようと考えています。「展覧会ではメディアを通して感じられるものとは異なる風合いを出し、現場でしか見ることができない感覚、空間を作りたい」と語る宇野氏の、数多くの展覧会で常に観客を魅了してきた空間設計と演出力にご注目ください。

*タイムトンネルシリーズは、第一線で活躍する作家のデビュー当時から現在に至るまでの作品を紹介し、その発想や表現方法の原点を探ろうとする展覧会です。



スケッチ 1952年 スケッチ 1953年 人形ラフ「木靴のボック」1954年 日宣美会員賞受賞ポスター 1960年 マックスファクター新聞広告 1966年 マックスファクター雑誌広告 1967年 シャンゾン 1968年 「毛皮のマリー」ポスター 1968年

タイムトンネルシリーズ Vol.17 宇野亜喜良展

「われに五月を」

寺山修司没後20年

2003年5月6日[火]→5月30日[金]

11:00a.m.-7:00p.m.(水曜日は8:30p.m.まで) 土・日・祝祭日休館 入場無料

主催/ガーディアン・ガーデン、クリエイションギャラリーG8

協力/ダンス・エレマン、EPSON PiezoGraph Laboratory

第1会場 ガーディアン・ガーデン

〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5 リクルートGINZA7ビルB1F TEL:03-5568-8818

第2会場 クリエイションギャラリーG8

〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル1F TEL:03-3575-6918

ART PARADISE <http://www.recruit.co.jp/GG/>

タイムトンネルシリーズに登場することになった。自分の作品保管能力の欠落がこの場合の恐怖だけれど、ギャラリー側の機動力に頼り、コンピュータ出力に頼ればなんとかなると楽観している。もう一つの現在形の仕事の方は、ぼくらの活動中の「演劇的なもの」をテーマにすることが決定した。グラフィックや舞台のデコール・デザインや小道具や衣装などの造形物などを展示するというところまでは良いのだけれど、10月に「ダンス・エレマン」というカンパニーが上演するものも実際に制作してしまおうという企画がちよっときつい。何しろ、このグループでは、このところテキストまで手掛けているから、そこから出発しなければならない。そのうえ人形劇団がわせみ座の特別出演も決まったので、人形製作もやらなければならない。今年は寺山修司没後20年なので、やっとタイトルだけは「われに五月を」に決まったという状態なのだけれど……。 (宇野亜喜良)



個展「OHI CEZANNE」1992年 「毛皮のマリー」ポスター 1998年 「ユレイカ」表紙 2003年 ダンス・エレマン「四季」1997年 ダンス・エレマン「月下の一群」2002年

■オープニングパーティー 5月6日(火)

7:00p.m.-8:00p.m. ガーディアン・ガーデン

7:30p.m.-9:00p.m. クリエイションギャラリーG8

■第145回クリエイティブサロン

日時/5月14日(水)7:00p.m.-8:30p.m.

会場/クリエイションギャラリーG8 入場無料 要予約

テーマ/宇野亜喜良が語る演劇論

*ご予約は、クリエイションギャラリーG8(TEL:03-3575-6918)まで。

■トークライブ

日時/5月21日(水)7:00p.m.-8:30p.m.

会場/ガーディアン・ガーデン 入場無料 要予約

テーマ/宇野亜喜良のライブペインティング

*ご予約は、ガーディアン・ガーデン(TEL:03-5568-8818)まで。

■宇野亜喜良インタビュー小冊子

今回の展覧会開催にあたり、宇野氏の幼少時代から現在にいたるまで、またイラストレーションに対する思いなどを語っていただきました。 A5サイズ モノクロ約60ページ 500円(予備)



ダンス・エレマン「ハリウッド・パビリオン」2000年

宇野亜喜良 Aquirax Uno

1934年名古屋生まれ。'52年名古屋市立工芸高等学校図案科卒業。'55年カルピス食品工業の広告課に入社。'56年日宣美展で特選、東京会員となる。'57年カルピス食品工業を退社。'60年日本デザインセンター設立とともに入社。日宣美展で会員賞受賞。'64年横尾忠則、原田維夫と共にスタジオ・オイルフィル設立。'65年解散し、スタジオRe設立。主にMax Factorの広告を担当。「グラフィックデザイン展ベルソナ」に参加。'66年よりフリーに。'66年東京イラストレーターズクラブ賞、'82年講談社出版文化賞挿絵賞、'89年サンリオ美術賞、'92年第6回赤い鳥挿絵賞ほか受賞。「宇野亜喜良展」(美術出版社)、「ル・シネマ・ドゥ・バルコ」(渋谷バルコ)、「OHI CEZANNE」(スペース・ユイ)、「嬉遊曲」(新宿伊勢丹)、「<活路>挿絵展」(名古屋C・スクエア)、「宇野亜喜良展」(ギンザグラフィック・ギャラリー)等、個展多数開催。主な出版物に『宇野亜喜良マスカレード』(美術出版社)、『ル・シネマ』(マガジンハウス)、『宇野亜喜良の世界』(立風書房)、絵本『あのこ』(理論社)、『王さまのねこ』(文化出版局)、『あかるい箱』(マガジンハウス)など。'03年5月『踊りたいけど踊れない』(アートン)出版予定。東京イラストレーターズ・ソサエティ会員。'99年紫綬褒章受章。

